

令和3年5月20日

報道機関各位

会津若松市

会津若松市と株式会社良品計画との連携に関する協定の締結について

会津若松市（市長：室井 照平）と、株式会社良品計画（代表取締役社長：松崎 暁）は、「会津若松市と株式会社良品計画との連携に関する協定」を本日締結いたしました。

1 協定の目的

会津若松市と株式会社良品計画が、本市の豊富な地域資源を活用し、多様な分野で連携した取組を行うことで、地域社会の発展と地域活性化の推進に寄与する。

2 連携事項

- (1) 中心市街地活性化及びまちづくりの推進に関すること
- (2) 公共交通、物流の利便性向上等による中山間地域との連携に関すること
- (3) 地域資源を活用した産業振興に関すること
- (4) その他、両者の協議で定めた目的を達成するために必要な事項

3 別添

会津若松市と株式会社良品計画との連携協定の概要

【本件に関するお問合せ先】

全体概要・連携 (1) に関すること	観光商工部 商工課	TEL 0242-39-1252
連携 (2) に関すること	企画政策部 地域づくり課	TEL 0242-39-1202
連携 (3) に関すること	農政部 農政課	TEL 0242-39-1253

会津若松市と株式会社良品計画との連携協定の概要

1 株式会社良品計画について

「無印良品」を展開する株式会社良品計画（東京都豊島区）は、「感じ良いくらしと社会」の実現を目指し、各自治体や地元住民が主役となって、それに良品計画が協働して地域課題を解決していく様々な取組を進めている。

福島県浪江町をはじめ、多くの自治体と連携協定を締結しており、それぞれの地域の課題について地元住民と共に考え、その課題解決に向け、同社が展開する「無印良品」の思想を活かしたモノ・コトのデザインや再編集を行っている。

（自治体との協定締結の例）

東京都豊島区、山形県酒田市、千葉県鴨川市、いすみ市、新潟県上越市、十日町市 ほか
福島県浪江町では「道の駅なみえ」に、全国で初めて道の駅に無印良品が出店

2 主な連携内容

（連携1）中心市街地活性化及びまちづくりの推進に関すること

- ・中心市街地に人が集うように、特に若年層と子育て世代の回帰に向けた空間づくりや、居心地のいい第3の場所（サードプレイス）の整備
- ・住民相互または住民と外来者（市民、周辺地域の住民等）の交流の促進

（連携2）公共交通、物流の利便性向上等による中山間地域との連携に関すること

- ・自動運転などの技術を活用し、高齢者や移動困難者も含めた地域全体のアクセスの向上
- ・中山間地域の遊休施設等を活用した、農業体験メニューや商品（6次産業化）の開発
- ・移動販売車による商品販売（中心市街地の店舗の商品などを含む。）

（連携3）地域資源を活用した産業振興に関すること

- ・未利用・低利用資源を活用した商品開発及び販路の開拓
- ・体験型観光等を通じた関係人口の拡大
- ・地域産品等に関する情報発信と販路拡大、リブランディング等による地域産業の活性化